



人権通信

令和二年四月十日発行

発行 城ノ内高校人権委員会
レベラーズ

こんにちは、人権委員会です。

四月に入り、いよいよ令和二年年度の始まりです。新しい学年、新しいクラス、真新しい教科書を前に、気持ちも新たに学校生活をスタートさせましょう。

一方で、新型コロナウイルスの感染者数は依然として増加傾向にあり、みなさんの学校生活にも大きな影響を及ぼしています。同時に、新型コロナウイルス感染症に伴い、新たな人権問題も起こってきています。

そこで、令和二年度の人権通信第一号は、新型コロナウイルス感染症にまつわる人権問題について書いていきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症と人権について

○「コロハラ」とは？

みなさんは「コロハラ」という言葉を知っていますか？

「コロハラ」とは、新型コロナウイルスの「コロナ」と、嫌がらせを意味する「ハラスメント」を組み合わせた造語です。今年に入ってから、わが国でも新型コロナウイルスの感染者が増加しはじめたところから、耳にする機会が多くなりました。福岡市営地下鉄では、「咳をしているのにマスクをしていない人がいる」という理由で、非常通報ボタンが押されるということがあり、問題になりました。また、愛知では新型コロナウイルス陽性反応で自宅待機の要請が出ていた人物が飲食店で「自分はコロナ陽性だ」と言いふらしていたというニュースもありました。

「コロハラ」とは、主に咳(せき)をした人や、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染者の出た地域に行った人、あるいは住んでいる人などに対し、感染者または濃厚接触者というレッテルを貼り、差別的な言動などの嫌がらせを行うことです。

具体的には、

- ・うつるからそばによるな」などの発言をする
- ・「お前感染してるだろ」などと決めつけて発言をする
- ・「うつてないんだったら証拠を出せ」などといった発言をする
- ・「あいつは「コロナだ」など事実無根の話を言いふらす
- ・「皆を不安にさせていることを謝れ」など謝罪を強要をする
- ・「なぜあんたところ(流行地域)に行ったんだ」などと問い詰める
- ・「コロナ」など悪意のあるあだ名をつける
- ・露骨に嫌な顔をしたり、冷たい態度を取る
- ・対象となる人がさわったものを目の前で汚染されたものとして扱う
- ・仲間はずれにする
- ・などがあります。

逆に、目の前でわざと咳(せき)をするなど、新型コロナウイルス感染症を思い起こさせるような嫌がらせも、「コロハラ」に含まれます。

具体的には、

- ・目の前で咳(せき)やくしゃみをわざとする
- ・「かかったら許さないからな」などの発言をする

・感染予防のためにマスクを着けるなどしている人に「神経質」、「軟弱」、「気合いが足りない」などの発言をする
などです。

○「コロハラ」はなぜ起るのか

このような「コロハラ」はなぜ起るのでしょうか？

背景としては、新型コロナウイルス感染症に対する危機感の高まりから、人々が感染のリスクに対して神経質になってしまい、通常であれば考えられない言葉を投げかけられてしまったり、態度に表れてしまうということがあります。また、相手をからかうなどして周囲の笑いを誘う「いじり」の材料として、新型コロナウイルス感染症をとりあげることに、コミュニケーションを図ろうとする場合もあります。ですが、いかなる理由であれ、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたりすることは許されることではありません。

○「コロハラ」を防ぐには

では、コロハラを防ぐにはどうすればよいのでしょうか？

それは、他のハラスメントと同じように、「常に相手の立場に立つて物事を考え、相手が嫌がるであろうことをしない」ことです。自分にとっては「軽い気持ち」「ちよつとした冗談」つもりでも、相手が嫌がることはすべきではありません。

また、このようなハラスメントは、まず「事実に基づかない思い込みや理解」があつて、そこに個人の感情が加わることで、最終的に言葉や態度に表れてくるといわれています。ですから、思い込みを振り回されたくないよう正しい知識、判断基準、対処方法など、全体で理解を深めることも必要です。そして、SNSの書き込みなどにみられる不確かな情報を信じてしまうことも、「事実に基づかない思い込み」の原因の一つになります。実際、二月下旬には、「トイレトペーパーが不足する」という誤った情報から、トイレトペーパーの買い占めパニックが起こりました。ですから、インターネットを適切に使いこなす能力、いわゆる「ネットリテラシー」を身につけることも大切です。

とはいえ、このような状況下で、いくらコロナウイルスに起因していないとしても、目の前で何の配慮もなしに咳(せき)をされて、その風を浴びせられたら、決していい気はしないし、積み重なるとどうしてもやられた方は過敏になってしまいます。ですから、咳(せき)エチケットなど基本的なマナーを守るようにすることは大切です。

お互いに不快な思いをせずにするよう、発言や行動に配慮することで、「コロハラ」を防いでいきましょう。

いかがでしたか？

新型コロナウイルス感染症により、学校が休校になったり、行事が中止や延期になったりするなど、みなさんの生活にも大きな影響が出ています。そのことで、ストレスがたまったり、つらい思いをしている人も多いと思います。

ですが、このような厳しい時こそ、互いの人権を尊重して行動できるようなゆるぎない人権感覚が求められます。

すべての人が安心して暮らしていけるよう、私たち一人一人が、「自分たちができること」を常に考え、この状況をみんなで乗り越えていきましょう。



